



障がい者施策に光を!

大阪維新の会 大阪府議会議員

とくむら

徳村 さとるの 府政報告

健康福祉常任委員会で質問(H25.3.12)

■障がい者への虐待防止について

徳村さとる

昨年10月に障害者虐待防止法が施行されたが、大阪府における障がい者虐待についてはどのような状況か?

地域生活支援課長

昨年10月から3カ月間の、通報・相談件数が全部で298件であった。そのうち、虐待もしくは虐待と疑われ、事実確認を必要としたものは112件である。

徳村さとる

市町村の体制が不十分であれば、障がい者虐待の対応が適切になれない。府として市町村職員の対応力向上のための具体的な方策は?

地域生活支援課長

市町村の体制整備を図るための担当者会議の開催とともに、市町村職員を対象とした虐待対応マニュアルを作成し、その内容を踏まえた研修の実施など、障がい者虐待の早期発見、早期対応がなされるよう支援を行ってきた。今後、市町村職員の対応力向上に資するよう、実践的な助言や研修の実施、また対応事例などの情報提供、そのほかの必要な援助を行い、引き続き大阪府全体で障がい者虐待の防止に積極的に取り組む。



■民生委員、児童委員の確保について

徳村さとる

民生委員、児童委員の確保が難しい状況にあると聞いている。私は、平成14年の4月から平成21年7月まで鶴見区内で社会福祉法人の理事長を務めた。併せて、もちろん保育園も運営していた。他園に仲間も多くおり、保育園運営者の母親が園長で、父親が理事、子息、令嬢が副園長、そのような園が結構ある。申し上げたいことは、そういう副園長クラスの方とか福祉の現場に従事し福祉の実情をよく把握している方にもっと民生委員、児童委員をお受けいただければと思う。

地域生活支援課長

現在、民生委員、児童委員は、当該市町村議会議員の選挙権を持ち、担当予定地域の居住者が要件であることから、自治会や校区委員会など、地域から上がってきた候補者をもとに市町村から国へ推薦している。そのため、府としては、特定の業種や団体等に対しての働きかけはしていないが、徳村委員の提案を踏まえ、社会福祉施設関係者等と、推薦を行う市町村に対して積極的に推薦を進めてまいりたい。

徳村さとる

民生委員、児童委員の担い手不足については、一朝一夕に解消できず、さまざまな取り組みを継続的に行う必要がある。民生委員、児童委員は、地域の最も身近な相談者であり、社会的に弱い立場の方々の身近における重要なセーフティネットであると思う。これからも、民生委員、児童委員の確保、そして民生委員、児童委員が活動しやすい環境づくりをしっかりと支援されたい。

維新の会府議団の健康福祉部会長に就任

大阪維新の会大阪府議会議員団において、政務調査委員の辞命を受け、健康福祉部会長に就任しました。大阪府政における福祉政策と健康・医療政策の立案や調査研究等のとりまとめを行います。

福祉政策は、行政が担う役割の中で最も基本となるもので、特に、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化など、福祉分野をとりまく環境は大きな変革期を迎えています。また、府民の健康・医療に関しても、府民の生命にかかわる重要な施策をしっかりとやらねばなりません。

健康福祉部会長として、これまで以上に府民の皆さまのニーズに的確に応えられるよう、懸命に取り組んでまいります。



健康福祉部会長として
政務会を運営する
(H25.3.10)

■府政に関するご相談やお問い合わせは

大阪維新の会 大阪府議会議員 徳村 さとる 事務所

〒538-0052 大阪府大阪市鶴見区横堤2-14-18

TEL(06)6915-0707 FAX(06)6915-0808

http://www.tokumura.net

世界に打って出る! 世界を取り込む!

国家戦略特区プロジェクトを府・市で政府に共同提案

日本が世界で一番ビジネスをしやすい国にするために

松井知事は、橋下大阪市長と共同で、政府の「国家戦略特区」の創設に向け、「世界に打って出る」「世界を取り込む」をテーマとした27項目にわたる大胆な企画を提案しました。世界と戦う大都市の国際競争力強化のための「イノベーション特区」、労働時間や労働法制の適用を緩和する「チャレンジ特区」、保険診療と自由診療の組合せを認める「混合診療特区」などが柱です。府民(国民)の前に立ちはだかる様々な「岩盤規制」の突破と次代を見据えた創造的な制度改革により、大阪、日本の成長を図るための政府への提案で、現在開会中の府議会においても議論されています。

「国際戦略特区」で求める主な規制・制度改革

| | |
|---------------------------------|--|
| 健康・医療イノベーション | <ul style="list-style-type: none"> ■先進医療の推進・具体化のための混合診療の実施 ■治験終了後、薬事承認までの間の保険外併用療養の拡大 ■ロボット介護機器の国際安全規格の制定 |
| 世界と戦う大都市の国際競争力強化 | <ul style="list-style-type: none"> ■我が国初のBID制度を活用したエリアマネジメント ■法人税減税(最大3%) ■自律走行型自動車の公道走行 |
| グローバル展開を支える物流インフラ強化&人材育成・労働環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> ■関西国際空港グローバルサプライチェーンプロジェクト ■公設民営学校の実現 ■高収入労働者を労働時間・解雇規制の対象外に |



松井知事

大阪府議会9月定例会が開会 平成25年9月25日～平成25年12月16日



平成25年度補正予算案や条例案などを審議

大阪府議会9月定例会が9月25日に開会しました。この議会では知事から提出された平成25年度補正予算案や条例案など65議案が審議されています。維新の会府議団では、これらの議案と併せて、今後の財政収支の見直し、巨大地震対策、教育問題など当面する府政の諸課題について、代表質問、一般質問及び委員会質問を通じて、55名の所属議員が府政の改革と伸展に向けた熱い議論を連日繰り広げています。

代表質問 平成25年9月30日 維新府議団 大橋一功副会長



主な質問項目

- 1.大阪都構想の実現
- 2.災害に強い大阪
- 3.大阪経済の発展に向けた取組み
- 4.青少年の健全な育成
- 5.公務員制度の健全化と財政健全化
- 6.安心して暮らせるまち、大阪
- 7.あるべき大阪の教育の実現

一般質問 平成25年10月4日～10月9日 維新府議団の質問者(10人)と主な質問。

| 質問日 | 質問者 | 質問日 | 質問者 |
|----------|---|----------|--|
| 10月4日(金) | 上野 一彦議員(箕面市・豊能部) ・消防広域化について ・教科書採択の手続等について | 10月8日(火) | 田沼浩之議員(大阪市阿倍野区) ・国家戦略特区について ・大阪府・大阪市特別区設置協議会について |
| | 橋本 和昌議員(四條畷市) ・絶対評価のスケジュールについて ・なわて水みらいセンターの今後の計画について | | 堀口和弘議員(泉南市) ・府県間道路の補助率の減いについて ・泉南インター箇所の近郊緑地保全区域の指定解除について |
| | 金塚 克典議員(大阪市大正区) ・府施設へのBEMS(ビルエネルギー・マネジメントシステム)導入状況について ・若者の雇用のミスマッチについて | | 三田善久議員(大阪市港区) ・インフラ施設の老朽化について ・水上警察のあり方について |
| 10月7日(月) | 中村 尚衣議員(大阪市西成区) ・観光給食について ・#7119(救急医療情報システム)について | 10月9日(水) | 松本利明議員(茨木市) ・学校給食について ・学力テストの結果について |
| | 地下 卓議員(高槻市・三島郡) ・MICE、IRの推進(港湾活性化)について ・老朽化構築の建て替えについて | | 鈴木 重雄議員(富田村市・市河内郡) ・土砂の埋立行為の規制等環境対策について ・大阪における就労・雇用対策について |